

生物産業学特別総合実験（4単位）

担当者氏名 塩本 明弘、小栗 秀、伊藤 博武、亀山 祐一、相馬 幸作、寺澤 和彦、吉田 穂積、中村 隆俊、平山 博樹、渡邊 研一、小林 万里、白井 滋、瀬川 進、千葉 晋、西野 康人、中川 至純、松原 創、丹羽 光一、久保田紀久枝、相根 義昌、佐藤 広顕、戸枝 一喜、中川 純一、渡部 俊弘、遠藤 明仁、菊地 哲夫、黒瀧 秀久、長澤 真史、美土路 知之

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

生物産業学に関する実学の精神と文理融合の教育体系に基づき、北方圏の地域性を活用した農林水産に関する生物資源、バイオテクノロジー、経営経済分野の領域で活躍できる能力を修得させることを教育・研究上の目的とする。原則として3年以上在学し、専修分野の1つを選択し、博士論文の研究指導を受ける。

◆取り扱う領域（キーワードで記載） ご自身のキーワードを記入してください

生物資源	バイオテクノロジー	食品加工	経営・経済
文理融合	領域横断性	自然科学	社会科学

◆授業の進行等について

	テ ー マ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1-5回	各自の研究テーマに則した研究計画を学ぶ	研究の背景や目的から、適切な研究手法を見出し、一定期間内に成果が出るよう計画することを学ぶ。	先人による関連論文を熟読し、必要なら予備調査も行う。
6-20回	各自の研究テーマに則したデータ取得法を学ぶ	各自の研究テーマに則した研究方法に関して、トラブルシューティングも出来るよう実践的トレーニングを積む。	データを取得するための方法論を身につけ、それを実践できるようにする。
21-40回	データを取得する	各自のテーマに設定された調査や実験データを取得する。	データ取得に必要な技術を予習しておく。
41-50回	データをまとめる	実験または調査データを目的に沿った形で理解しやすく纏める。	各自と近い分野の論文などのデータのまとめ方を調べておく。
51-60回	各自の研究テーマに則したデータ解釈法を学ぶ	各自が得たデータに適切な解釈や考察を加えるため、統計解析等を行う。また、研究の再現性や追試の必要性について議論する。	データ解釈を正しく行い、それを文章やスライドで表現できるようにする。
46-60回	調査または実験結果のまとめ	統計処理などを行って、結果を整理して、外部機関や学会等で発表できる形の報告書を作成する。	データ表記の最適な方法について考えておく。

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名/著者/発行所（発行年）

各自のテーマ関連学術論文を指導教員と相談の上で読んでおく。

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所（発行年）

とくになし

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト）

課題として提出したレポートや論文が、指導教員の課した目標にどの程度到達しているかを評価基準とする。

◆オフィスアワー

各教員に確認して下さい。

◆その他受講上の注意事項

各自の指導教員とよく連絡をとるように。